

ひょうごビジョン2050及び 地域創生の推進について

作成年月日	令和8年4月16日
作成部局名	企画部地域創生課

目次

I	ひょうごビジョン2050の推進	
1	ビジョンの推進	03
2	ビジョンのフォローアップ	05
II	地域創生の推進	
1	地域創生戦略の推進	06



I ひょうごビジョン2050の推進




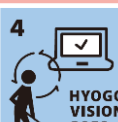

1 ビジョンの推進

(1) ひょうごビジョン2050の概要

- 「ひょうごビジョン2050」（2022年3月策定）を基本方針として、各分野計画に基づく施策を推進。また、県民主体の実践活動の拡大を図るとともに、対話の場、学びの場を各地で展開し、県民参画による地域づくりを推進し、「誰もが希望を持って生きられる一人ひとりの可能性が広がる『躍動する兵庫』」の実現をめざす。

【めざす姿】

誰もが希望を持って生きられる一人ひとりの可能性が広がる『躍動する兵庫』

5つのめざす社会	I 自分らしく生きられる社会	①自由になる働き方 ②居場所のある社会 ③世界へ広がる交流	1  HYOGO VISION 2050
	II 新しいことに挑戦できる社会	④みんなが学び続けられる社会 ⑤わきあがる挑戦 ⑥わきたつ文化	2  HYOGO VISION 2050
	III 誰も取り残されない社会	⑦みんなが生きやすい地域 ⑧安心して子育てできる社会 ⑨安心して長生きできる社会	3  HYOGO VISION 2050
	IV 自立した経済が息づく社会	⑩循環する地域経済 ⑪進化する御食国 ⑫活動を支える確かな基盤	4  HYOGO VISION 2050
	V 生命の持続を先導する社会	⑬カーボンニュートラルな暮らし ⑭分散して豊かに暮らす ⑮社会課題の解決に貢献する産業	5  HYOGO VISION 2050

(2) ビジョン実現に向けた分野計画の推進

- 地域創生戦略をはじめ、各分野計画をビジョンの実行プログラムと位置づけ、ビジョン実現に向けた県施策を推進

(3) 県民主体の実践活動によるビジョンの推進

- ・ビジョン実現に資する活動を行うグループを「ビジョン推進チーム」として登録し、県民の実践活動を支援するなど、地域のめざす姿を描いた地域ビジョンを推進

【R7ビジョン推進チーム数】

	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
チーム数	14	40	27	23	33	30	26	27	13	28
人数	1,318	4,668	983	491	1,202	727	1,971	1,346	163	572

(4) ビジョンフォーラムの開催（対話の場づくりの推進）

- ・多くの県民が集い、地域の未来を話し合う「対話の場」として、各地域でビジョン推進チームの活動発表のほか、地域のキーパーソンを交えたワークショップ等を実施する地域ビジョンフォーラムを開催

【R7地域ビジョンフォーラム開催状況】

地域	日程	会場
神戸	3月7日（土）	ふたば学舎
阪神	1月31日（土）	伊丹市立産業振興センター
東播磨	12月13日（土）	加古川総合庁舎
北播磨	8月22日（金）	小野市うるおい交流館エクラ
中播磨	12月10日（水）	兵庫県立姫路労働会館
西播磨	3月22日（日）	西播磨総合庁舎
但馬	3月7日（土）	兵庫県立但馬文教府
丹波	3月7日（土）	丹波の森公苑
淡路	3月4日（水）	南あわじ市広田地区公民館



阪神地域ビジョンフォーラム



北播磨地域ビジョンフォーラム

※ 阪神南北は合同開催

(5) 出前講座の実施（学びの場づくりの推進）

- ・次代を担う若者が、自分や地域の未来を考え新しい一歩を踏み出すきっかけになるよう、ビジョンを素材に地域について学ぶ「若者出前講座」（34回）や、地域団体等への出前講座（40回）を実施



若者出前講座の様子

(6) 情報発信

- ・「ひょうごビジョン2050」ポータルサイトにおいて、地域のキーパーソンや先進的な活動を行っている団体等へのインタビュー動画など、多彩なコンテンツを掲載



ポータルサイトのコンテンツ例

2 ビジョンのフォローアップ

(1) 兵庫のゆたかさ指標によるビジョンの点検評価

- ・ビジョンの推進状況を、県民の実感で捉える「兵庫のゆたかさ指標」を用いて点検・評価するため、県民意識調査を実施
- ・同調査を基に、ビジョンで掲げた15のめざす姿に関連する48の調査項目により、ビジョンの推進状況を把握

(2) 推進状況報告

- ・県行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例（平成18年4月1日施行）に基づき、ビジョンの実現に向けた令和6年度の推進状況を議会に報告（令和7年9月）

II 地域創生の推進

1 地域創生戦略の推進

(1) 第三期兵庫県地域創生戦略の概要

- 人口が減少しても地域の活力を維持し、将来への希望を持てる「地域創生」を実現するため、今後5年間の取組の方向性を定めた『第三期兵庫県地域創生戦略』を策定

【第3期兵庫県地域創生戦略（R7年度～11年度）】

基本
理念

五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる地域へ
～地域や人をつなぐ「縁」を生み出し、共創の取組を五国に拡げる～

3つの柱

『自分らしく生きられる社会の創出』

『五国に拡がる可能性の追求』

『暮らしの持続性の確保』

(方向性1～3)

(方向性4～6)

(方向性7～8)

8つの
方向性

1 多様な学びや働き方が叶う社会を創る

2 居場所と役割を創る

3 寛容性を拡げる

4 ひとの動きを生み出す

5 地域の固有性を磨く

6 経済活力を創出する

7 人・自然・文化を次代につなぐ

8 安心して暮らし続けられる地域を創る

8つの方向性に基づき、具体的な取組を展開

戦略推進プロジェクト

地域創生に向けた重要な取組をプロジェクトとして設定

- ① 若者・Z世代応援プロジェクト -望む学びや働き方が叶う環境づくり-
- ② ひとりじゃないプロジェクト -社会的な孤独・孤立を防ぐ取組の強化-
- ③ 外国人「第二のふるさと」プロジェクト -外国人が安心して暮らし働ける地域づくり-
- ④ 五国の“ナリワイ”育みプロジェクト -地域の稼ぐ力と雇用力を高める取組-
- ⑤ ひょうご五国豊穡プロジェクト -「農」を核とした農山漁村の活性化-
- ⑥ 五国のご縁（五縁）プロジェクト -地域や人をつなぎ、新たな価値を創出-

様々な
展開
方法

各地域における取組方針 五国の多様性を活かすため地域独自の取組を戦略に位置づけ

県民局、県民センターごとに各地域における取組方針を設定

(2) 戦略の指標・目標、人口の将来展望

- ・個別の取組の効果や成果を直接的に測る統計データ等による**客観指標**に加え、統計データ等では測定が困難な「幸せの実感」や「心の豊かさ」等の**主観指標**を、8つの方向性に応じて設定
- ・国立社会保障・人口問題研究所の将来推計を基本に、本戦略に基づく取組の効果を踏まえ、**2070年の本県人口目標を380万人**に設定（今後の人口動向等を注視し、必要に応じて見直し）

○各方向性の主要指標・目標の一例（これらも含め全体で187指標を設定）

方向性	指標	現状	目標値(R11)
多様な学びや働き方が叶う社会を創る	県内大学卒業生の県内企業就職率	27.9% (R6)	33.0%
居場所と役割を創る	不登校児童生徒が学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた割合（小・中）	47.0% (R6)	全国平均以上 [R6:61.2%]
寛容性を広げる	ミモザ企業認定数	198社 (R6)	289社
ひとの動きを生み出す	県内への転入超過数（国際移動・外国人を含む）	1,291人 (R5)	5,400人
地域の固有性を磨く	地場産業の生産額（主要産地）	1,900億円の維持	1,900億円の維持
経済活力を創出する	製造品付加価値額	56,760億円 (R6)	61,477億円
人・自然・文化を次代につなげる	住んでいる地域で、安心して楽しく子育てできていると思っている人の割合	54.9% (R7)	前年度を上回る [R6:54.4%]
安心して暮らし続けられる地域を創る	健康寿命（男性、女性）	男性80.52 女性84.88 (R5)	男性81.53 女性86.05

(3) 戦略の推進体制

- ・産学官金労言の有識者による助言を受けるための地域創生戦略会議のほか、実務者等を中心とした**地域創生アクション委員会**を新たに設置し、実効的な戦略の推進を図る

- R7.5.14 第1回アクション委員会 [戦略推進プロジェクトへの参画等]
- R7.8.5 第1回戦略会議 [第二期地域創生戦略実施状況報告等]
- R7.8.30 地域創生フェスにアクション委員参加
- R7.10 アクション委員の現場視察 [ひょうごオープンファーム(猪名川町)等]
- R7.10.29 第2回アクション委員会 [戦略推進プロジェクトの進捗状況等]

- ・令和6年度の本戦略実施状況を議会に報告（令和7年9月）
- ・議会には進捗状況等について適時共有するとともに、地域創生の実現に向けて連携・協力して推進を図る

○地域創生アクション委員会 委員一覧

氏名	所属・役職
上村 敏之	関西学院大学経済学部教授【委員長】
岡本 麻紀子	日本イーライリリー(株) 部長
桂 敦子	神戸親和大学文学部国際文化学科教授
河野 圭一	(株)ワールド・ワン 代表取締役会長
富田 祐介	(株)シマトワークス 代表取締役
西山 桃子	(株)西山酒造場 取締役女将
飛田 敦子	認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸代表理事
安枝 英俊	県立大学環境人間学部教授

(4) 地域創生コラボレーションプロジェクト

- ・地域創生の成功事例の横展開等を図るため、各主体が地域を超えて出会い・交流する場を設けるとともに、新たに各地域におけるプレイヤーの裾野拡大を図るため、各地域単位の交流会を実施

【令和7年度の主な取組】

項目	内容
ひょうご地域創生フェス2025 「カケルDAY」	地域創生のキーパーソンによる講演、地域創生の先行事例や取り組みの発表、テーマ別ブースでのマッチング等を実施 (R7.8.30(土)神戸KIITOホールにて開催。来場者数1,000名程度)
地域創生アイデアソン ・ワークショップ	ひょうご地域創生フェスで生まれたコラボレーションによる事業化を支援 (R7.12.13(土)洲本市S BRICKにて開催。参加者数40名程度)

【令和8年度の主な取組】

項目	内容
ひょうご地域創生フェス2026 「カケルDAY」	県内で地域活性化に取り組む方々の交流・マッチングを通じ、新たな事業創出に繋げることを目的に、第2回目の同イベント開催を予定 (R8.9.3(木)神戸KIITOホールにて開催予定)



地域創生フェス2025の様子

(5) 若者・Z世代応援パッケージの推進

- ・3年目となる令和8年度も、ライフステージに応じた切れ目ない支援を充実しパッケージを強化

【令和8年度の主な事業】

4つの「しやすい」	主な事業
「学びやすい」	教育環境の充実 ：県立学校施設の改修・修繕の拡充、私立高校における緊急修繕 特色ある教育の磨き上げ ：県立・私立高校の魅力向上、チャレンジ留学応援事業の強化 教育費の負担軽減 ：県立大学授業料等の無償化、兵庫型奨学金返済支援
「子どもを産み育てやすい」	妊娠・出産・産後支援の強化 ：不妊治療支援、出産・健診等の安心アクセス支援 子育て環境の充実 ：地域限定保育士の導入、幼児教育の更なる質の向上 安全・安心な環境づくり ：不登校支援員の拡充、医療的ケア児への通学支援
「住みやすい」	住宅・住環境の確保 ：子育て住宅促進区域の魅力向上、県営住宅における子育て世帯への支援 遊び場の充実 ：県立都市公園の遊具充実・暑さへの対策
「働きやすい」	若者の就労支援の拡充 ：高校生・大学生等の県内就職支援、ケアリーバーの自立支援 柔軟で多様な働き方の推進 ：女性活躍の推進、場所等にとらわれない働き方の推進 多様な分野への就労支援の強化 ：有機農業アカデミーの開講、林業の魅力づくり

- ・**若者による政策提案チーム**を結成し、パッケージの更なる充実強化に向けた仕組を構築